

以下の5領域について個別支援計画を作成し、個人ごとの児童発達支援プログラムを作成しています。

事業所名

放課後等デイサービス GROW

支援プログラム

作成日

令和6 年

7月

1 日

法人(事業所)理念		子ども達1人ひとりが自立して、かけがえのない人生を歩んでいけるよう、社会性を育む ●子ども達が居心地よく、「また来たい」「いつでも来れる」と思える場所 ●ご家族の良き相談事業所であり、安心して子供を任せられる場所 ●スタッフ一人ひとりが「自分の福祉観」を大切に、力を発揮していける場所										
支援方針		●子どものありのままの姿を見つめ、「～したい」という想いを大切に。その想いを「後押しする(達成させる)」ために働きかけを行う。(個の尊重・発達支援) ●支援計画に沿った活動の展開を通じて、発達(成長)を促していく。(ケアマネジメント) ●ご家族とのコミュニケーションを通して、信頼関係を構築する。(家族支援) ●「自分の福祉観」は思っているだけでは意味をなさない、「情報の発信」「問題の共有」「共通認識」を通じて、「行動」「直接支援」へと変えていく。他のスタッフとの協働を通じて、子どもの生活の質を向上させていく。(チームアプローチ)										
営業時間		平日 休曜日	9 時 8 時	30 00	分から 分から	18 17	時 時	30 00	分まで 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・食事、排泄、衣類の着脱など、日常生活動作(スキル)について、スモールステップ、繰り返しの支援で身辺自立を促します。										
	運動・感覚	・遊びと生活の中で身に着く各器官の呼応や協働、また身体を存分に動かし、身体(感覚)運動の発達に取り組みます。 ・リズム遊びや音楽療法等、感覚刺激を取り入れた活動を行います。										
	認知・行動	・色、形の弁別、比較や保存、空間関係、数量、包含などの概念形成・獲得、個別・小集団を通じた認知発達支援に取り組みます。 ・感覚の過敏性や認知の偏りなど、個々の状況把握を行い、環境への配慮と行動障害への予防や適切な対応を支援します。										
	言語 コミュニケーション	・要求、報告、聴く、模倣、観察など自分も周りの人も大切にするコミュニケーションを学びます。 ・言葉の発達支援や、文字の習得、絵カードの使用など、コミュニケーション(意思伝達)における代替手段を模索し考えます。										
	人間関係 社会性	・順番、交代、役割、ルールを守る、指示に沿った行動をするなど、社会に適応するために必要なスキル獲得を支援します。(SST・社会性と情動のスキル獲得プログラム、コグトレ等) ・自己の行動や感情に気付いたり、対処法を考えるなど気持ちのコントロールやストレスの発散方法などを考えます。										
家族支援		・保護者面談(適宜) ・法人内併設部門(居宅・移動支援)との連携 ・広報紙の定期発行 ・その他関係機関との連携							移行支援		・進学先・就労先、施設との情報共有 ・認知の発達に合わせて、社会生活力プログラムに取り組みます(成年期以後)	
地域支援・地域連携		・各関係各所との連携(相談支援事業所、学校、児童発達相談所など) ・児童通所連絡会への参加							職員の質の向上		・内部研修 ・外部研修 ・資格取得支援	
主な行事等		季節行事:季節にちなんだ活動などイベント行事を定期的実施しています(夏祭り、クリスマス会、野外宿泊体験など) 外出活動:公園遊びの他、遠足や地域施設などの社会資源の活用 園芸活動:季節の収穫体験(芋ほり・夏野菜など) 懇親会:保護者間の親睦、育児に関する不安の解消など										